

課題番号	GZ002
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)  
実施状況報告書(平成 22 年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	CO2 削減と産業発展の両立を目指した企業経営・グリーンイノベーション・制度の探求
研究機関・ 部局・職名	一橋大学・イノベーション研究センター・准教授
氏名	青島矢一

1. 当該年度の研究目的

1. 太陽電池産業における技術革新の歴史をサーベイし、日本(企業、政府、大学)の役割と位置づけを明確にする。世界市場における日本企業の現状の競争力を把握するために、海外企業の予備的調査を行う。
2. 鉄鋼産業におけるCO2削減に関する技術開発の歴史を明らかにする。
3. 国家支援の環境関連R&Dプロジェクト(NEDOプロジェクト)が企業を通じた事業化促進に与える影響を明らかにする(22年度は記述的な分析まで)
4. その他、環境・エネルギー関連産業の予備的調査を進める。

2. 研究の実施状況

- ・ 太陽電池産業に関してはトップメーカーである中国のサンテックパワーで調査を行った。調査からはサンテックの競争力の源泉が、ある程度理解できたと同時に、中国における過当競争の実体が明らかになった。中国全体で金余り状態が続く中、大量の投資資金が太陽電池産業に流れており、熾烈な価格競争を引き起こしている。1W=1ドル程度で入札が行われることもあるようで、この値段になれば、太陽電池が系統発電を代替することも近い将来可能となると思われる。
- ・ 水関連産業については、逆浸透膜開発に関する調査を進めて、東レに関する事例を執筆した。膜モジュールのような単品開発では日本企業の技術力の高さが目立つものの、インフラとしての水ビジネス全体では日本企業のプレゼンスは極めて低い。今後は、残る3社に関する調査をすすめ、さらに水関連産業全体における競争構図の調査を進める。
- ・ 大震災を契機として、当初予定していなかった地熱発電事業に関する研究を始めた。アイスランドにおける地熱発電の歴史をサーベイし、80%近くの電力が地熱発電によって供給されるようになった過程の大枠を理解した。2012年度の夏に現地調査を行う予定である。
- ・ 排出権取引に関しては、経済学者の業績を中心に、現在既存文献のサーベイを行っている段階である。まずは排出権取引のメリットを理解した上で、イノベーションとの関連を理論的に整理していく。
- ・ NEDO 支援プロジェクトの調査に関しては、質問票調査の予備的解析を進めるとともに、インタビューをすすめている。これまで8社ほどの訪問を終えた。
- ・ また、大震災を契機に、エネルギー政策意思決定に関する研究を、(原発を含む)大規模システムの管理組織に関する研究へと方向修正した。

様式19 別紙1

3. 研究発表等

雑誌論文 計1件	(掲載済み一査読有り) 計0件  (掲載済み一査読無し) 計0件  (未掲載) 計1件 藤原雅俊・青島矢一・三木朋乃「東レ:逆浸透膜の創造プロセス」『一橋ビジネスレビュー』2011年夏号(掲載予定)
会議発表 計0件	専門家向け 計0件  一般向け 計0件
図書 計0件	
産業財産権 出願・取得状況 計0件	(取得済み) 計0件  (出願中) 計0件
Webページ (URL)	
国民との科学・技術対話 の実施状況	
新聞・一般雑誌等掲載 計0件	
その他	

4. その他特記事項

## 実施状況報告書(平成22年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されます

## 1. 助成金の受領状況(累計)

(単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額
直接経費	35,000,000	0	12,307,000	22,693,000
間接経費	10,500,000	0	3,692,100	6,807,900
合計	45,500,000	0	15,999,100	29,500,900

## 2. 当該年度の収支状況

(単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を 除く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度 執行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額
直接経費	0	12,307,000	0	12,307,000	462,908	11,844,092
間接経費	0	3,692,100	0	3,692,100	0	3,692,100
合計	0	15,999,100	0	15,999,100	462,908	15,536,192

## 3. 当該年度の執行額内訳

(単位:円)

	金額	備考
物品費	0	
旅費	256,958	インタビュー調査・工場見学
謝金・人件費等	0	
その他	205,950	日英翻訳
直接経費計	462,908	
間接経費計	0	
合計	462,908	

## 4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
				0		
				0		
				0		